

予備試験お疲れさまでした

本試験に向けて、今後の作戦会議！！



2023.10.7

〔3〕大学及び養成所において履修すべき科目

農林水産省・環境省HP
⇒カリキュラム検討委員会により作成

1. 基礎動物学 (360 時間)		⑤動物臨床検査学 (30 時間)	
①生命倫理・動物福祉	(30 時間)	⑥動物医療コミュニケーション	
②動物形態機能学	(120 時間)	(30 時間)	
③動物繁殖学	(30 時間)		
④動物行動学	(30 時間)	4. 愛護・適正飼養学 (210 時間)	
⑤動物栄養学	(60 時間)	①愛玩動物学	(60 時間)
⑥比較動物学	(60 時間)	②人と動物の関係学	(30 時間)
⑦動物看護関連法規	(15 時間)	③適正飼養指導論	(60 時間)
⑧動物愛護・適正飼養関連法規	(15 時間)	④動物生活環境学	(30 時間)
		⑤ペット関連産業概論	(30 時間)
2. 基礎動物看護学 (270 時間)		5. 実習 (600 時間)	
①動物看護学概論	(30 時間)	①動物形態機能学実習	(30 時間)
②動物病理学	(30 時間)	②動物内科看護学実習	(120 時間)
③動物薬理学	(60 時間)	③動物臨床検査学実習	(60 時間)
④動物感染症学	(90 時間)	④動物外科看護学実習	(90 時間)
⑤公衆衛生学	(60 時間)	⑤動物臨床看護学実習	(60 時間)
		⑥動物愛護・適正飼養実習	(60 時間)
3. 臨床動物看護学 (360 時間)		⑦動物看護総合実習	(180 時間)
①動物内科看護学	(90 時間)	以上 計 1,800 時間	
②動物外科看護学	(60 時間)	※ 示した時間数は、養成所において実施する際の授業時間数である。	
③動物臨床看護学総論	(30 時間)		
④動物臨床看護学各論	(120 時間)		

※調べ方

⇒「愛玩動物看護師国家試験 カリキュラム」

第2回愛玩動物看護師国家試験 予備試験出題

1. 基礎動物学	必須問題	実地問題
生命倫理・動物福祉 動物形態機能学 動物繁殖学 動物行動学 動物栄養学 比較動物学 関係法規	2,3,4,5,6,7 8 9,10,15 11,12,13 14 16,17	1,2,3,4,5,6 7 8,9 10 12,44 14,25,46,50
2. 基礎動物看護学	必須問題	実地問題
動物看護学概論 動物病理学 動物薬理学 動物感染症学 公衆衛生学	18 18,20,21 22,26 23	15 16,17,18 19,20,21 22
3. 臨床動物看護学	必須問題	実地問題
内科・外科・臨床看護学 臨床検査	24,25,27,28,29,30,31,32,33,34,36,37,38, 39,44,45 35,40,41,42,43	23,24,26,27,28,29,30,32,33,34,35,37,47 31,36,38,39,40
4. 愛護・適正飼養学	必須問題	実地問題
人と動物の関係・適正飼養など	46,47,48,49,50	13,41,42,43,45,48,49

第2回愛玩動物看護師国家試験 予備試験出題

1. 基礎動物学	必須問題	実地問題
生命倫理・動物福祉 動物形態機能学 動物繁殖学 動物行動学 動物栄養学 比較動物学 関係法規	2,3,4,5,6,7 8 9,10,15 11,12,13 14 16,17	1,2,3,4,5,6 7 8,9 10 12,44 14,25,46,50
2. 基礎動物看護学	必須問題	実地問題
動物看護学概論 動物病理学 動物薬理学 動物感染症学 公衆衛生学	18 18,20,21 22,26 23	15 16,17,18 19,20,21 22
3. 臨床動物看護学	必須問題	実地問題
内科・外科・臨床看護学 臨床検査	24,25,27,28,29,30,31,32,33,34,36,37,38, 39,44,45 35,40,41,42,43	23,24,26,27,28,29,30,32,33,34,35,37,47 31,36,38,39,40
4. 愛護・適正飼養学	必須問題	実地問題
人と動物の関係・適正飼養など	46,47,48,49,50	13,41,42,43,45,48,49

約50%

●愛玩動物国家試験出題範囲 全体像を見てみよう！！

形態機能学

細胞小器官、遺伝子(DNA・RNA)
心臓(構造、刺激伝導系、心電図、血圧調節)
呼吸器、消化管の構造と消化吸収、内分泌
腎臓の構造と働き、神経(中枢神経と末梢神経)
骨格(関節の名称、骨格筋の名称)
血液学(赤血球、白血球、凝固系)
感覚器の構造と働き

繁殖学

生殖器の構造と動物種による違い
(⇒産業動物も一緒に抑える)
繁殖に関わるホルモン
発情(動物種による違いと膣スミア検査)
妊娠と分娩(妊娠期間、分娩のステージ)
去勢避妊のメリット・デメリット
新生仔の特徴と管理(生理学や初乳)
遺伝学

比較動物学(産業・エキゾチック・実験動物)

それぞれの動物の解剖・生理学
繁殖関係の比較
実験動物の特徴と使用目的(疾患モデル)
3Rの原則や5つの自由について
環境エンリッチメント
動物福祉

病理学

退行性変化と進行性変化の用語整理
色素沈着(ビリルビン、メラニンなど)
循環障害
(⇒うっ血、充血、虚血、出血、ショックなど)
炎症の5大徴候
腫瘍の名称
先天性疾患(奇形)

薬理学

薬物の取り扱い(毒物・劇物・麻薬)
薬理学基礎
(⇒投与経路、代謝(動物種による違い)、半減期、
腸管循環、初回通過効果など)
薬理学計算問題
各種麻酔薬、鎮痛薬、抗痙攣薬、抗不整脈薬、
オータコイド、ホルモン製剤、ステロイドとNSAIDs、
抗生物質、抗がん剤、抗駆虫薬

感染症学

細菌、ウイルス、真菌の構造
顕微鏡の取り扱い
感染症の検査方法(培養、薬剤感受性、PCRなど)
寄生虫学
(⇒回虫、鉤虫、鞭虫、フィラリア、巻形吸虫、
瓜実糸虫、マニソン、エキノコックス、コクシジウム、
バベシア、ジアルジア、トリコモナス、トキソプラズマ
外部寄生虫:ノミ、ダニ、シラミなど)
駆虫薬
感染症について
(⇒感染経路、感染症(ワクチンに入っているもの))
消毒と滅菌
免疫学とワクチン

関係法規・条約

獣医師法・獣医療法
愛玩動物看護師法
動物実験法
感染症法
狂犬病予防法
家畜伝染病予防法
ペットフード安全法

麻薬・毒物・劇物の法律

身体障害者補助犬法(盲導犬・聴導犬・介助犬)

廃棄物処理に関する法律

ワシントン条約、ラムサール条約、外来生物
環境問題に関する条約

公衆衛生学

人獣共通感染症
感染経路(媒介動物が運ぶ感染症)

食中毒(細菌性、ウイルス性、寄生虫性、自然毒)

4大公害病

放射線防護

行動学

個体維持行動
発育ステージ(社会化期など)
学習理論(古典的条件付け、オペラント条件付け)
問題行動とその治療

栄養学

栄養素の消化と吸収
必須アミノ酸と必須脂肪酸(動物種による違い)
エネルギー要求量
⇒DERの栄養計算
ライフステージ毎の栄養管理
ペットフードの表示義務項目(ペットフード安全法)
中毒
疾患ごとの栄養管理
強制給餌法
⇒チューブフィーディングも含む

臨床看護学(内科・外科)

動物看護過程
カルテの記入(SOAP方式)
インフォームドコンセント
愛玩動物看護士の業務範囲(愛玩動物看護師法)

＜臨床検査＞
血液検査(採血、抗凝固処理、検体の取り扱い)
尿検査(結晶、細菌培養、採尿法)
レントゲン検査(単純、造影検査、撮影方法)
超音波検査(プローブの種類、検査体位など)
心電図検査(波形、誘導、不整脈)
CT検査とMRI検査について
内視鏡検査(検査範囲、内視鏡の取り扱い)
神経学的検査(固有位置感覚、踏み直り反応、
跳び直り反応、脊髓反射、皮膚反射など)
眼科検査(フルオレセイン染色、シルマー試験、
眼圧測定、眼底検査、スリットランプなど)
皮膚検査(皮膚掻痒検査、ウッド灯、耳鏡、生検)

＜輸液管理＞
輸液の目的と種類、輸液量計算、脱水評価
輸血の目的、クロスマッチ検査、モニタリング

＜臨床看護＞
若齢動物の看護と高齢動物の看護
(⇒新生仔の管理や褥瘡の管理など)
ターミナルケア、グリーフケアなど

＜各種疾患＞ ※優先をつけて抑えましょう
・嚥下弁閉鎖不全症、肥大型心筋症(血栓症も)、
動脈管閉鎖症、フィラリア症
・短期種気道症候群、気管虚脱
・歯周病、巨大食道症、胃拡張捻転症候群、異物
肝リピドーシス、門脈体循環シャント
・腎不全、尿石症
・甲状腺機能低下症/亢進症、クッシング症候群
・糖尿病、アジソン病
・膝蓋骨脱臼、股関節形成不全、前十字靱帯断裂
・股関節形成不全、包帯法、骨折
・潜在精巣、子宮蓄膿症、乳腺腫瘍

臨床看護学(内科・外科) つづき

＜各種疾患＞ ※優先をつけて抑えましょう
・アトピー性皮膚炎、皮膚糸状菌症、外耳炎
・水頭症、てんかん
・角膜炎、緑内障、白内障、チェリーアイ
・免疫介在性溶血性貧血(Ⅱ型アレルギー)、
バセシア症、FIP、リンパ腫
・救急疾患(熱中症、中毒、誤飲、呼吸困難、
心肺停止、アナフィラキシーショックなど)

＜外科＞
創傷治癒過程
⇒デブリッドメント、ドレナージなども
無菌処置(手洗い、滅菌など)
手術器具の名称と使用法
麻酔のリスク評価(ASA分類)
麻酔モニター(SpO2、ETCO2など)
麻酔器の各部の名称と働き
縫合糸・針の使用用途

指定講習会の内容

動物福祉と動物の権利
(⇒5つの自由と3Rの原則、環境エンリッチメント)
人と動物の関係
(⇒家畜化の歴史や使役動物など)
動物介在活動(AAT、AAE、AAAなど)
シェルターメディスン(災害時の同行避難について)
動物産業
(⇒ペットの販売(第一種動物取扱業)、ペット用品、
ペット共生住宅など)

※これですべてを網羅出来ているわけではないで
すが、学習の指標になればいいなと思って作成し
ました。
(参考:愛玩動物看護師国家試験出題基準)

勉強頑張って下さい！！



● 僕が提供できる勉強ツール

寺子屋勉強会

問題演習を中心に国家試験で出題される可能性の高い問題を解説していきます。
第1期の勉強会と併せて全体をカバーできるように計画していきます。

オリジナル問題集

基礎問題を中心に収録してあるので、とりあえずどこからやったらいいか分からない
という方向けの問題集です。(データ版と印刷版があります)

漬けセミナー

テーマや分野を決めて、その範囲について基本的なことから若干深い部分まで
徹底的に解説します

● 僕が提供できる勉強ツール

新規開設

国家試験対策基礎講座

国家試験の出題範囲の本当に基礎的な内容を順番に解説していきます。
基礎の内容をしっかりと押さえることで、その後の勉強のスピードも変わるはずです。
⇒すべて受講すると1冊のまとめノートが完成します

寺子屋オンライン自習室

試験直前からなかなか一人で勉強ができないという方向けにzoomを利用した自習室を開設します。リアルタイムで質問も可能です。

公式LINEアカウント

勉強会のお知らせやまとめ資料の新着情報などをお送りします。
また、チャット機能を使えば気軽に質問することが可能です。

●僕が協賛（監修）している勉強ツール

オンライン模擬試験（どうぶつ看護ポータル）

国試までの間に2回の本格的な模擬試験を実施します。
問題作成は僕が監修し、全ての問題について解説と写真付き実地問題のPDFが
入手できます。（日程の都合がつけば解説授業もあり）

どうぶつ看護ポータル（アプリ）

アプリで手軽に国家試験範囲の問題を解くことができます。最新バージョンでは、
各問題に難易度を設定し、ご自身の進行具合により練習ができます。

ひまわり どうぶつ看護ポータル X 寺子屋勉強会 解説授業付き

秋の模擬試験受付中

より実践的な模擬試験になってます！
受験期間：11月1日～

国家試験まで全3回（まとめ買いがお得！） [詳しくはこちら▶▶](#)



新規開設

国家試験対策基礎講座

全部で約12回(予定)をかけて試験範囲の簡単なまとめを作成していきます。

第3回以降の受験を考えている方や学生の方も受講していただけると嬉しいです。

基本的なことは十分理解できている方は、寺子屋勉強会や模擬試験の受験で十分と考えられますが、これから勉強を始めるとか、問題集を買ってみたはいいが、何言っているのか分からないという方向けの勉強会になります。

国家試験対策基礎講座

新規開設

第1講座 機能形態学

1 細胞と遺伝子

1.1 細胞小器官

細胞小器官の機能と構造について説明する。ミトコンドリアはエネルギーの産生に関与し、核はDNA (核小体) を含む。Golgi装置はタンパク質の輸送に関与し、リソソームは細胞内の不要物を分解する。

1.2 DNAと遺伝子について

細胞内の核の中にはDNAという物質により遺伝情報が保存されている。一もつれないようにヒストンというタンパク質に巻き付けられ、折りたたまれて「染色体」が構成される(※動物種により数が異なります)。

DNAは糖(デオキシリボース)とリン酸と塩基で構成される。塩基は4種類存在する: A (アデニン), T (チミン), G (グアニン), C (シトシン)。

RNAはアデニン(A), ウラシル(U), グアニン(G), シトシン(C)で構成される。

DNAに保存される遺伝子をもとに目的のタンパク質を合成すること。

DNA → mRNA → タンパク質

※この時に働くRNAは3種類

- ・ mRNA (メッセンジャーRNA)
- ・ tRNA (トランスファーRNA)
- ・ rRNA (リボソームRNA)

細胞の分裂と増殖に関する図解。細胞周期の各期 (G1期, S期, G2期, M期) が示されている。細胞分裂のメカニズムと、細胞の増殖による組織の形成についても説明されている。

細胞の増殖は、細胞周期 (G1期, S期, G2期, M期) を通じて行われる。G1期は細胞の成長期、S期はDNAの複製期、G2期は細胞の準備期、M期は細胞分裂期である。

細胞の増殖によって形成される組織の種類:

- 上皮組織: 上皮細胞が層状に形成される組織 (例: 皮膚、消化管の内壁)
- 筋肉組織: 筋細胞が束状に形成される組織 (例: 心臓、骨格筋)
- 神経組織: 神経細胞と神経繊維から形成される組織 (例: 脳、神経)

2.2 組織の種類と特徴

組織	骨格筋	心筋	平滑筋
核	あり	あり	なし
神経支配	単神経性	単神経性	多神経性
収縮制御	随意筋	不随意筋	不随意筋
存在	体幹、四肢	心臓	消化管、血管など

2.3 神経組織

神経組織には神経細胞と神経膠細胞がある。神経細胞は樹状突起、細胞体、軸索から構成される。神経膠細胞は神経細胞を支持し、神経伝達を補助する。

※神経細胞は、神経細胞を支持したり神経活動を補助する働きがある。

神経細胞の種類:

- 星状神経細胞
- 小星状神経細胞
- 神経細胞
- 神経膠細胞

2.4 結合組織

※上皮組織、筋肉組織、神経組織以外の組織をまとめて結合組織という。

例) 骨組織、軟骨組織、血液、リンパなど

漬けセミナー

10月終わりに開催予定！

臨床検査漬け

血液検査，尿検査，画像検査などなど臨床で実施する検査について
画像をたくさん使いながら徹底的
に解説

